

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地					
専門学校武蔵野 ファッショナカレッジ		昭和51年10月1日	片桐 芳子	〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6117					
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地						
学校法人後藤学園	昭和25年9月22日	後藤 人基	〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6117						
目的	ファッションの専門的知識と技術そして、変遷するファッション業界において順応出来る幅広い視野と美的意識を備え、生活をより快適かつ美的なものにするための社会貢献出来る人材育成を目的とする。								
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士				
服飾・家政	服飾専門課程	ファッションスタイリング科		平成21年文部科学省告示第21号	—				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験			
2年	昼間	1860	630	0	1740	0			
単位時間									
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数					
120人	84人	8人	15人	23人					
学期制度	■前学期:4月1日より9月30日まで ■後学期:10月1日より翌年3月31日まで		成績評価	<p>■成績表: 有</p> <p>■成績評価の基準・方法 出席評価・受講努力・試験・提出課題等にに基づき60点以上取得で単位認定。100~80点をA、79~70点をB、69~60点をCと評価し、59点以下をD(不合格)と評価</p>					
長期休み	<p>■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日~8月31日 ■冬季:12月25日~1月7日 ■学年末:3月25日~3月31日</p>		卒業・進級条件	学則に定める所定の修業年限以上在学し、規定科目の時間数・単位数の取得、学費等の納入を怠っていない者					
生徒指導	<p>■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者との連携、電話連絡、家庭訪問</p>		課外活動	<p>■課外活動の種類 無</p> <p>■サークル活動: 無</p>					
就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 アパレル業界 ■就職率※1 : 87.5 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 82.4 % ■その他</p> <p>(平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)</p>		主な資格・検定等	ファッションビジネス能力検定3級 ファッションビジネス能力検定2級 スタイリングマップ検定ジュニア スタイリングマップ検定プレイヤー リテールマーケティング(販売士)検定2級					
中途退学の現状	<p>■中途退学者 9名 平成28年4月1日 在学者 84名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 75名 (平成29年3月31日 卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 健康上の問題及び家庭の経済的問題</p> <p>■中退防止のための取組 担任による面談やスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施。学費の分納・延納措置の対応や学資ローン企業との連携による納入支援。</p>								
ホームページ	http://www.musashino-fashion.ac.jp								

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育方針に共感し、人材教育の重要性を認識している企業との連携によってファッション業界に向けた職業の実践教育によって有益な人材を生み出す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年3月31日現在

名 前	所 属
佐藤 綾子	株式会社レイ・カズン
中澤 舞	一般社団法人日本ファッショングスタイリスト協会
佐久間 守平	レジュイール ディレクター
片桐 芳子	本校 校長
小倉 展伸	本校 教務部 副部長
松山 由未	本校 教務部 教務課 副主事
奈良 将之	本校 教務部 教務課
窪寺 瞳	本校 教務部 教務課
小西 広実	本校 教務部 教務課
高橋 あやめ	本校 教務部 教務課
箕輪 雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課
茂垣 晴菜	本校 教務部 スチューデントサポート課

(開催日時)

第1回 平成28年10月28日 17:00~18:30

第2回 平成29年 2月15日 16:00~17:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

現職の業界人を講師として起用し、企業の業務手法を在学中に身につけ且つ人格的にも社会で通用するレベルになる様、礼節も身につけることとする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
スタイルリスト トレーニング1	スタイルリストの役割の理解からはじまり、現場で必要な専門的スキルを身につけます。	株式会社エーツー
ファッション リテール	販売職に必要な接客スキルをロールプレイングを中心に行い身につけます。	株式会社レイ・カズン

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

職業実務教育の観点から最新の業界情報まで精通した教員能力維持の為、『ファッション業界の実務研修』、『指導方法向上の研修』、『就職指導研修』を計画的に行い職業教育の向上に努めている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年3月31日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッショングスタイリスト協議会 議長
佐久間 守平	レジュイール ディレクター
山中 哲也	東京学館浦安高等学校 教頭
竹内 忠男	スタジオアヴニール 代表
金久保 薫子	株式会社B 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational_info.html

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational_info.html

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッショングスタイルリング科) 平成28年度										企業等との連携						
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法		場所		教員		
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任			
○			スタイリング1	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング1ではシャツを製作し、トップスの理解を目的とします。	1前	90	3	△		○	○		○			
○			スタイリング2	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング2ではパンツを製作し、ボトムスの理解を目的とします。	1前	90	3	△		○	○		○			
○			スタイリング3	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング3ではカジュアルジャケットを製作し、上着の理解を目的とします。	1後	90	3	△		○	○		○			
○			ビジネスコミュニケーション	課題を解決し、顧客やパートナーの満足度を高めることで評価されるのが仕事。 このようなビジネスシーンで要求されるコミュニケーションスキルの向上を図る。	1前	30	1	○		△	○			○		
○			ファッショングビジネス1	アパレル業界全体の仕組みを包括し、基礎から理解します。	1前	30	1	○			○		○	○	○	
○			パーソナルカラー検定	パーソナルカラーの基本的知識を習得し、色の特性を理論的に識別判断できる能力を養います。	1前	30	1	○			○			○		
○			デザイン画1	デザイン画の基本プロポーションと衣服の関係を把握し、デザインの構造を正確に描けるように、基本技術を高めます。	1前	30	1	△		○	○			○		
○			デザイン画2	デザイン画1で習得した基本技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1後	30	1	△		○	○			○		
○			ファッショングマテリアル1	繊維→糸→織物・編物→加工→製品までの流れに関する講義と各々の企画に合わせた素材提案マップを作ります。	1後	30	1	○			○			○		
○			アパレル技術1	素材、副資材等の知識、ミシン、アイロン他、用具の扱いを学び、スカートの制作行程を通して、縫製技術の基礎を習得します。	1前	30	1			○	○		○			
○			パターンメーキング1	パターンの基礎知識とパターンメーキングの基本を習得します。	1前	30	1			○	○		○			

(服飾専門課程ファッショングスタイリング科) 平成28年度																
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任			
○			コンピューターグラフィック1	Macintosh の基本操作をはじめ、Adobe illustrator や Adobe Photoshop の基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。	1前	30	1			○	○		○			
○			ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナー、接遇マナーを学び身につけます。就職活動対策も兼ね、就職活動をスムーズに行えるようにします。	1後	30	1	○			○			○		
○			incubate collection	ファッショショナーの準備、運営の授業を通して、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	1後	30	1			○	○		○			
○			プレゼンテーション1	製作物等を使ってプレゼンテーションを行います。自分の考えを適切に伝え、良さを理解し共感を得られるよう、目指します。	1通年	30	1			○	○		○			
○			マーケットリサーチ1	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを作成し知識や情報を蓄積します。	1通年	30	1			○		○	○			
○			コレクションセミナー1	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。	1通年	30	1	○		○	○		○			
○			イベントプロデュース1	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	1通年	60	2			○	○		○			
○			ファッショントコーディネート1	服と小物、メイクまで含めたトータルコーディネートをプロのスタイリストとメーキャップアーチストが教える授業です。	1前	30	1	○			○			○		
○			ヘアメーク1	ヘアスタイリング、スキンケア、メイクの概論から入り、後半では実習を行います。メイク技術だけの向上ではなくコラージュ製作などでコンセプトの理解力も養います。	1前	30	1			○	○			○		
○			スタジオワーク	スタジオ撮影の実習を行います。コンセプト作り、スタイリング、撮影など、一連の流れを実践を通して理解していきます。	1後	30	1			○	○			○		
○			スタイリストトレーニング1	スタイリストの役割の理解からはじまり、現場で必要な専門的スキルを身につけ、2年次で行う現場研修（スタイリストトレーニング2）につなげます。	1後	30	1	△		○	○			○	○	
○			ファッショングビジネス2	進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッショングビジネスの世界で活躍する際に必要な専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。	1後	30	1	○			○		○	○		

(服飾専門課程ファッショングスタイリング科) 平成28年度															
分類		授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任			
	○	ショップマネジメント1	期間限定ショップ【incubate】の運営です。1年生は2年生のサポート的役割を担います。2年生がどう考え行動しているのか理解し、協力して下さい。	1前	30	1			○	○	○	○			
	○	ファッショナドバイザーリテール	ファッショナドバイザーリテールの仕事の理解、接客マナー、現場力、コミュニケーション能力を磨く。	1前	30	1			○	○			○	○	
	○	リクルートガイダンス1	就職活動における基本的マナーと活動方法を身につけ、意思決定がなされるように進路選択をしていきます。ファッショナ業界の就職の仕方を学びます。	1後	30	1	○			○		○			
	○	パターンメーキング2	素材の違いによるパターンの変化の理解と、ニット素材の特性と扱い方。カットソーのデザインとサンプルメーキング。	1後	30	1			○	○		○			
	○	コンピューターグラフィック2	必修科目CG1で学んだ主な基本操作の復習と、自由なアイテムに自由なプリント手法を使用したオリジナルデザインプリントを作成し、更なる知識、技術の追求を深めます。	1後	30	1			○	○		○			
	○	販売士2級検定対策	単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施	1前	30	1	○			○		○			
	○	英会話	ネイティブの英会話講師による、店頭での接客を前提とした英会話を学びます。	1後	30	1	○			○		○			
	○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	1通年	30	1			○	○		○			
	○	モデルウォーキング1	incubate collection のモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	1後	30	1			○	○			○		
	○	ヘアメークスタッフ1	ファッショナショ用のヘア&メークアップの習得です。担当作品についてのヘア&メークアップのプランニングから実施まで行います。	1後	30	1			○	○			○		
	○	キャンパスサポート1	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話が出来る接遇力を高めます。	1通年	30	1			○	○		○			
○		スタイリストワーク1	期間限定ショップに向けての商品製作をおこないます。ファッショングスタイリング科らしいトータルコーディネートの視点でのファッショング提案を目指します	2前	90	3	△		○	○		○			

(服飾専門課程ファッショングスタイリング科) 平成28年度																
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任			
○			スタイリストワーク2	ファッショショナーに向けての作品製作を行います。ファッショングスタイリング科らしいトータルコーディネートの視点でファッショング提案が課題です。	2後	90	3	△		○	○		○			
○			スタイリストワーク3	学園祭での発表に向けての卒業製作課題です。	2後	90	3	△		○	○		○			
○			incubate collection	ファッショショナーの準備、運営の授業を通して、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	2後	30	1			○	○		○			
○			プレゼンテーション2	製作物等を使ってプレゼンテーションを行います。自分の考えを適切に伝え、良さを理解し共感を得られるよう、伝えることに磨きをかけます。	2通年	30	1			○	○		○			
○			マーケットリサーチ2	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを作成し知識や情報を蓄積します。	2通年	30	1			○		○	○			
○			コレクションセミナー2	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍の方や卒業生の講演もあります。	2通年	30	1			○	○		○			
○			イベントプロデュース2	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	2通年	90	3			○	○		○			
○			ファッショングスタイリング検定	Styling Mapメソッドをベースに色彩とファッショング・メイクやヘアスタイルのスタイリングテクニックについて、理論に沿い基本的な知識を習得します。	2前	30	1	○			○			○		
○			ファッショングコーディネート2	この講義ではファッショングとヘア・&メイクを一体と考え、一つのコンセプトを同時に創り上げる訓練を行います。プロのスタイリストとヘア・&メイクアップアーチストとのコラボレーション授業を実施します。	2後	30	1	○		△	○			○		
○			ヘアメーク2	ファッショングイメージ表現の実習を中心に行ないます。メイク技術だけの向上ではなくコラージュ制作等でコンセプトの理解力も養います。	2前	30	1			○	○			○		
○			ポートフォリオ・メーキング	コーディネート作品を写真撮りし、作品集を作り上げる授業です。	2後	30	1			○	○		○			
○			スタイリストトレーニング2	スタイリストの現場研修『インターンシップ』です。スタイリストトレーニング1で学んだ内容を現場で生かしていきます。	2後	60	2			○		○	○			

(服飾専門課程ファッショングスタイリング科) 平成28年度												
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員	企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	校内	校外	専任	兼任
	○	ファッショングビジネス3	進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッショングビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけます。	2前	30	1	○		○		○	○
	○	ファッショングマーケティング	マーケティングは目的達成の為の仕組みであると言い換える事も出来ます。課題を実習形式のグループワークで取り組み、学んでいきます。	2後	30	1	○		○		○	
	○	ショップマネジメント2	PDCAサイクルを学生に体感させる実践的教育としての期間限定ショップ【incubate】の運営です。課題を与えそれに対して個人又はグループで解決してゆく形式で進めます。	2前	60	2			○	○	○	
	○	リクルートガイダンス2	1年時に身についた知識を基に進路を探求します。各自の進路に合わせ、面接指導や個別相談で就職試験の準備をします。	2前	30	1	○		○		○	
	○	ビジュアルマーチャンダイジング	ビジュアルマーチャンダイジングは店舗設計～商品のディスプレイまで幅広いものです。知識だけでなく最後の授業では、まとめとして商品ディスプレイを実習で行います。	2前	30	1	○		○	○		○
	○	アパレルインターンシップ	現在学習している事が実際社会でどのように活用・展開しているかを知る事により、社会に出る為に今後何を学ぶべきかを認識し、勉学への意欲の向上を図ると共に、将来の職業適性や設計を考える機会とし、社会人としての自覚・職業観の育成を目的としています。	2前	60	2			○	○	○	
	○	帽子製作	自分のイメージした作品のデザインを、いかに厳密に正確により早く美しく仕上げるかを、製作を通して学びます。	2後	30	1			○	○		○
	○	販売士2級検定対策	単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施	2前	30	1	○		○		○	
	○	ネイルアート	ネイル技術を用いた、指先に美しさと華やかさを創造し、トータルビューティーを目指します。ネイルケア、フラットアート、エンボスマート、3D立体、ミックスメディアアートを学びます。	2後	30	1			○	○		○
	○	英会話	ネイティブの英会話講師による店頭での接客を前提とした英会話を学びます。	2後	30	1	○		○		○	
	○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	2通年	30	1			○	○	○	
	○	モデルウォーキング2	incubate collection でのモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	2後	30	1			○	○		○

(服飾専門課程ファッショングスタイリング科) 平成28年度													
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
		○ ヘアメークスタッフ2	ファッショショ用のヘア&メークアップの習得です。担当作品についてのヘア&メークアップのプランニングから実施まで行います。	2後	30	1			○ ○		○ ○		
		○ キャンパスサポート2	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話ができる接遇力を高めます。	2通年	30	1			○ ○		○		
合計							61科目	2370 単位時間(79 単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等
出席回数、受講姿勢、課題提出や試験による総合評価	1学年の学期区分 2期
	1学期の授業期間 15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。